

2008 年度

<p>科目名</p> <p style="text-align: center;">レクリエーション概論</p>	<p>対象学科・学年 教育教福3回生 人間人社2回生</p>	<p>担当者</p> <p style="text-align: center;">亀井 安子</p>			
<p>授業テーマ</p> <p>レクリエーションの基礎理論と現代社会におけるレクリエーションの意義を知る。</p>					
<p>授業の概要と目標</p> <p>広い意味でレクリエーションとは、報酬を得ることを目的としない楽しみの活動すべてをさします。レクリエーションは個人の楽しみだけでなく、他者との交わりの中で人々の生活に潤いを与えるものです。心の豊かさが求められる現在、レクリエーションの重要性と意義について現代社会との関連から理解を深めていきます。</p>					
<p>評価方法</p> <p>授業内容に関するワークシートの提出、テスト、出席によって総合的に評価します。</p>					
<p>テキスト</p> <p>適時配布します。</p>	<p>著者</p>	<p>出版社</p>			
<p>参考書</p> <p>楽しいをつくる やさしいレクリエーション実践</p>	<p>著者 (財)日本レクリエーション協会編</p>	<p>出版社 (財)日本レクリエーション協会</p>			
<p>授業スケジュール・内容</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 現代社会から見たレクリエーション</li> <li>3. 余暇生活の現状と課題</li> <li>4. レクリエーションに期待されているもの</li> <li>5. レクリエーションの歴史</li> <li>6. レクリエーション支援の基本的な考え方と実際</li> <li>7. レクリエーション支援のプロセス</li> <li>8. レクリエーション支援の目指すもの</li> <li>9. レクリエーション支援の特色</li> <li>10. レクリエーション支援の役割</li> <li>11. レクリエーション種目についての理論および実践 I</li> <li>12. レクリエーション種目についての理論および実践 II</li> <li>13. レクリエーション種目についての理論および実践 III</li> <li>14. グループワーク・コミュニケーションの実際</li> <li>15. グループワーク 作品発表</li> </ol> </td> <td style="width: 30%; vertical-align: top;"> <p>授業説明</p> <p>レクリエーションとは</p> </td> <td style="width: 40%; vertical-align: top;"> <p>(手遊び・室内ゲーム)</p> <p>(レクリエーションダンス)</p> <p>(グループワーク)</p> </td> </tr> </table>			<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 現代社会から見たレクリエーション</li> <li>3. 余暇生活の現状と課題</li> <li>4. レクリエーションに期待されているもの</li> <li>5. レクリエーションの歴史</li> <li>6. レクリエーション支援の基本的な考え方と実際</li> <li>7. レクリエーション支援のプロセス</li> <li>8. レクリエーション支援の目指すもの</li> <li>9. レクリエーション支援の特色</li> <li>10. レクリエーション支援の役割</li> <li>11. レクリエーション種目についての理論および実践 I</li> <li>12. レクリエーション種目についての理論および実践 II</li> <li>13. レクリエーション種目についての理論および実践 III</li> <li>14. グループワーク・コミュニケーションの実際</li> <li>15. グループワーク 作品発表</li> </ol>	<p>授業説明</p> <p>レクリエーションとは</p>	<p>(手遊び・室内ゲーム)</p> <p>(レクリエーションダンス)</p> <p>(グループワーク)</p>
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. オリエンテーション</li> <li>2. 現代社会から見たレクリエーション</li> <li>3. 余暇生活の現状と課題</li> <li>4. レクリエーションに期待されているもの</li> <li>5. レクリエーションの歴史</li> <li>6. レクリエーション支援の基本的な考え方と実際</li> <li>7. レクリエーション支援のプロセス</li> <li>8. レクリエーション支援の目指すもの</li> <li>9. レクリエーション支援の特色</li> <li>10. レクリエーション支援の役割</li> <li>11. レクリエーション種目についての理論および実践 I</li> <li>12. レクリエーション種目についての理論および実践 II</li> <li>13. レクリエーション種目についての理論および実践 III</li> <li>14. グループワーク・コミュニケーションの実際</li> <li>15. グループワーク 作品発表</li> </ol>	<p>授業説明</p> <p>レクリエーションとは</p>	<p>(手遊び・室内ゲーム)</p> <p>(レクリエーションダンス)</p> <p>(グループワーク)</p>			